

スポ推だより

第2号（令和8年8月）
発行：豊田市スポーツ推進委員協議会

《令和8年度豊田市スポーツ推進委員協議会総会》



4月19日（日）産業文化センター小ホールにて
太田市長より委嘱状が交付され18名のフレッシュな
スポーツ推進委員を迎えました。

研修部会が障がい者スポーツ研修部会に、広報部会
が企画広報部会に名称が変更になりました。

《ダーツ研修会》



ダーツ研修会が6月21日（日）サン・アビリティーズ
豊田にて開催され、推進委員50名が参加しました。

講師3人の指導の下、ハードダーツの基礎知識を学び
ながら、実技体験を行い、7月に開催された豊田市身障
協会主催のハードダーツ西三河大会で、推進委員10名が
審判を務めました。（竜神地区 勝田雅樹）

《各地区コミュニティ活動紹介》

《上郷地区 モルック体験会》



5月17日（日）上郷交流館芝生広場にて、元気食
堂の依頼により「モルック体験会」を行いました。
未就学児から小学校高学年までの子どもと大人含め
て50名が参加しました。A、Bブロックそれぞれ4
チームずつに分けて、モルックの指導を行いました。
（上郷地区 栗田清広）

《猿投地区 春季球技大会》



5月31日（日）亀首町亀の子マレットゴルフ場
において猿投地区春季球技大会のマレットゴルフ
を開催しました。参加者は、心地よい日差しの中、
熱中症に注意しながら地域の方と距離のあるロン
グホールや難しいホールなど、様々なホールを楽
しみながら一打に集中してベストスコアを目指し
ていました。（猿投地区 後藤貴生）

《各地区コミュニティ活動紹介》



《崇化館地区 グラウンドゴルフ大会》

高齢者クラブ連合会 グラウンドゴルフ大会を
6月6日（土）白浜公園グラウンドにて、精鋭
48名で開催しました。晴天の中、ほとんどの
方が道具ご持参でのハツラツプレーでした。
最高齢は92歳の男性で、今回、前後半で2回
ホールインワンをした方もいて、大変楽しい
ひと時を過ごしました。（崇化館地区 大森丈人）



《若林地区 親子COT教室》

6月7日、14日、21日、28日と4回の親子COT
教室を開催しました。親子で遊びを通じて身体を
動かし、短い時間で、様々な運動を行うことで、
子どもたちの集中力を高めて、楽しく学びました。
子供たちは、走り回り疲れ知らずでした。

（若林地区 石原一郎）



《豊南地区 ことぶき講座》

ことぶき講座が6月18日（木）豊南交流館にて
開催され、50名が参加しました。健康のための基
礎体操にコグニサイズを行いました。その後、輪
投げなどのゲーム大会で盛りあがりしました。

（豊南地区 神谷佳子）



《益富地区 COT教室》

6月21日（日）益富交流館にて親子COT教室を
開催しました。親子約30名が参加し、リングや綱
引きを行いました。
子どもたちの力が強いことに参加した親は驚き、
元気いっぱい体を動かし汗をかいている姿は素
晴らしく感じました。

（益富地区 大田晃）

スポーツ推進委員協議会ホームページについて

豊田市ホームページ内の『豊田市スポーツ推進委員協議会からのお知らせ』をご覧ください

「スポ推だより」のバックナンバーやお薦めのニュースポーツなどがご覧いただけます

豊田市スポーツ推進委員協議会



スポーツ推進委員会QRコード

《ターゲットボッチャ紹介》

ターゲットボッチャ

パラリンピックの正式種目である「ボッチャ」をアレンジした、年齢を問わず、より多くの人を楽しめるように豊田市スポーツ推進委員協議会 地域スポーツ推進部会でルールを考案したニュースポーツです。床に敷いた的（ターゲットマット）を目標けてボールを投げ、合計得点を競う簡単なスポーツです。床にカーリングのような点数付きのマットを敷いて、そこにボールを転がして点数を競います。運動が苦手な方でも楽しめます。

〈ルール・ゲーム方法〉

- ・コート中央に整列し代表者がジャンケンをする
勝：先攻後攻選択 負：コート場所選択
- ・先攻側から交互に1球ずつ投球（投球順：自由）
- ・決められたエリアから投球
ラインに触れたり、超えたりしない
ただし、空中で超えるのはよい
- ・ボールが止まったエリアが得点となる。
真上から見て得点エリアに少しでもかかっている場合は高得点側を採用する
- ・各チームが6球を投球し得点を集計を完了し次のゲームに移る
- ・2ゲーム以降の先攻は、合計得点が多いチームが先攻で投球する
ただし同点の場合は先攻後攻を交代する。

〈ゲームの勝敗〉

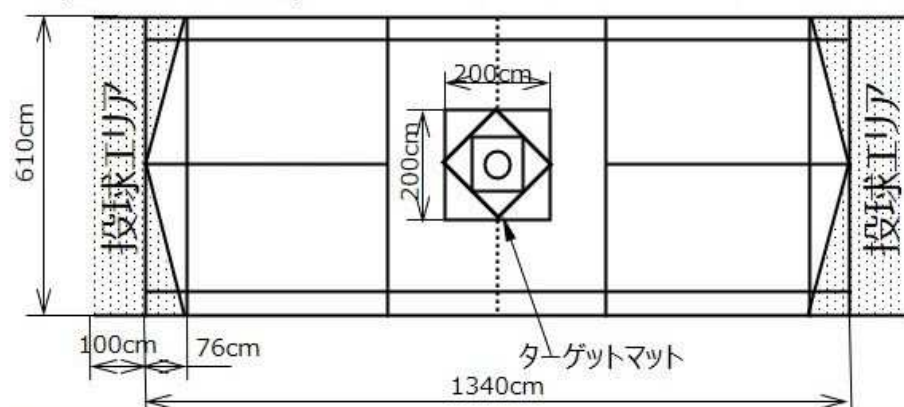
- ・3回ゲーム行い合計点が多いチームが勝者。
同点の場合は、引き分けとする。

〈ゲームの勝敗〉

- ・投球者が投球エリアラインに触れて投球した場合、得点は有効とするが、最高得点エリアにある球を1球没収。得点がない場合は、得点集計時に相手チームに3点加算する

〈コートサイズ〉

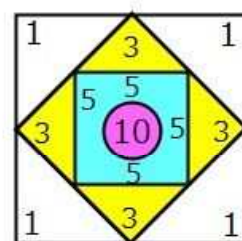
コート概要（バドミントンダブルスコートを使用）



〈必要な道具〉



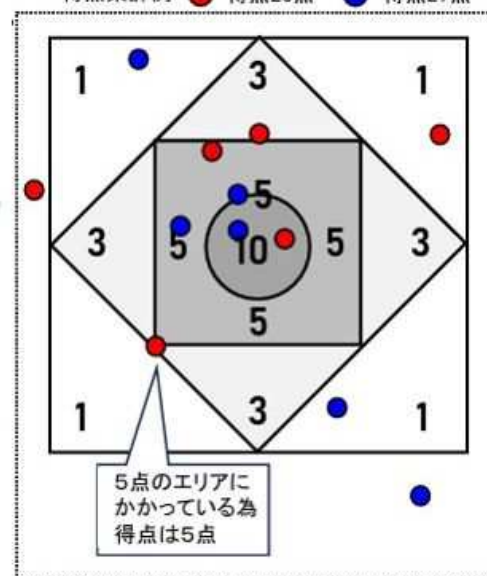
◆ボッチャボール
ジャックボール白は
使用しません



◆ターゲットマット

〈得点集計例〉

得点集計例 ● 得点26点 ● 得点27点



道具の貸し出しについては、各地区のスポーツ推進委員にお問合せください

《各部会活動紹介》

今年度の各部会での活動方針を紹介します

地域スポーツ推進部会

多様な市民がスポーツに親しむため、地域での体力測定の実施や地域でニーズのある種目の機会提供に努める。

- ・多世代に対して体力測定を行い、身体の状態や体力年齢を把握頂き、健康な身体を維持する機会提供に努める。
 - ・ニーズのあるスポーツを各地区に展開するとともに、新たなスポーツの機会提供に努める。
- ボッチャとモルック体験を全地区での開催達成を目指す。



小松部会長
(浄水地区)

コーディネーショントレーニング推進部会

各地区で、未就学児親子対象のコーディネーショントレーニング(COT)教室も盛んとなり、活動の場も増えてきました。また、成人や高齢者向けに各地区のスポーツ行事の準備体操にコグニサイズを取り入れて市民の皆様へ周知して頂くとともに、部会内にてスキルアップ向上を目指し、今年度もがんばっていききたいと思います。



助川部会長
(若林地区)

障がい者スポーツ研修部会

障がいを抱える方の健康増進と交流促進に寄与するため、障がい者スポーツの普及および指導体制の強化に必要な知識と指導法の習得に努める。

- ・障がい者スポーツに関する基礎知識と指導方法を習得するため、部会内研修や推進委員対象研修を実施する。
- ・身障協会等のお役に立てられる活動に適切に対応できるよう、安全配慮や補助方法を含む実践的な指導技術の習得に努める。



戸辺部会長
(逢妻地区)

企画広報部会

スポーツ推進委員相互のコミュニケーションと活動情報の共有を図るとともに、広報誌の定期的な発行を通じ、市民の皆様への情報発信に努める。

- ・「スポ推だより」と「かわら版」を通じて、協議会内に各地区状況を展開する。
- ・スポ推だよりの定期的発行とホームページを活用し、市民の皆様へ情報を発信する。
- ・スポーツ推進委員相互のコミュニケーションを通じ、活動情報共有の場を提供する。



前田部会長
(末野原地区)